

午前10時30分開会

○小枝委員長 ただいまから文化継承・コミュニティ活性化特別委員会を開会いたします。着座にて進めさせていただきます。

欠席届が出ております。文化振興課長、景観・都市計画課長が、それぞれ公務のため欠席です。加えて、多分大丈夫だと思いますが、11時40分になりますと、文化・スポーツ担当部長、公務のため欠席となりますが、今日はそこまではいかないんじゃないかと思っています。

本日は、当委員会の新年度初めての開催となります。名簿案をご用意しておりますが、異動のあった理事者には、名簿に星印をつけております。「（案）」を取って名簿といたしますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小枝委員長 はい。サイドブックスの中、見られますね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小枝委員長 はい。

それでは、日程に入ります。本日の日程をご確認ください。この日程のとおり進めさせていただきますと思いますが、よろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小枝委員長 はい。ありがとうございます。

日程1、調査報告書（案）についてです。調査報告の案文をご確認ください。当委員会は、令和5年5月の第1回臨時会において設置されましたが、これまでの委員会活動の調査報告を、私、委員長（案）として作成し、皆様にメールで事前にご提案をさせていただきました。皆様から様々なご意見を頂きまして、ありがとうございました。何かご意見ございますか。

○のざわ委員 この案に関して。案に関してですか。

○小枝委員長 はい。（発言する者あり）

○のざわ委員 案に関して。じゃあ、またその後で。すみません。失礼しました。（発言する者あり）

○小枝委員長 はい。

それでは、この内容につきましては、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小枝委員長 はい。それでは、「（案）」を取りまして、当委員会の調査報告とさせていただきます。

それでは、文言調整もないということで、よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小枝委員長 はい。

次に、日程2、その他に入ります。委員の方から何かございますか。

○のざわ委員 案に関してはもう、これ、これで私も何もしゃべっていなかったんで、これでいいと思うんですが、一つ、私、まあ、これ、作成する前にちょっとまちを歩きまして、ぜひ、この議事録に残させていただきたいということでお話をさせていただきます。

やはり、この神田というまちは、簡潔に申し上げまして、やっぱり、世界でも有数な、

あるいは世界一の学びのまちと言っていいと。それで、まちの中には、名前は言わないでくれとか、声なき声という形で、やはりこのまち全体を、分かりやすく言うと、一つ、大丸有とか、千代田区に二つは要りませんかとか、大手町とか表参道みたいになりたくないんだという声もかなり多くてですね。そうなってくると、世界一、世界で一つしかございませんので、やっぱり、私たちは京都と同じ価値があるんだと。だから、金閣寺、銀閣寺、清水寺、130の例えば古書店は、お寺と同じぐらいに考えてくれという方々もいますということで、まち全体を、この雰囲気とこの形を残すということも、大切なことであります。ここに書いてある、建て替えをしなくてはいけないというふうなことの部分もあるんですけども、この形を残してほしいという声も大きくて、例えばリノベーションのところで補助をしていただくとか、そういう声も大きくあったということで、ここ、発言をしていなかったんで、この議案は、当然、報告書はこれでいいんですけど、そういう声もありましたということ、ぜひ議事録にとどめていただきたいと思って発言をさせていただきました。

以上でございます。

○小枝委員長 はい。のざわ委員、ありがとうございます。行政のほうでも、委員会の中で表現の仕方はともかくとして、そうした方向性のご答弁もあったというふうに記憶しております。のざわ委員にとっては、やや不十分な表現になっているかもしれませんが、皆さんから頂いた様々な、このまちに対する思いを調整する形で、まとまってきているということで、ぜひ、また、次の委員会のほうに引き継いでいただけたらというふうに思います。ありがとうございました。

ほかに、委員さんのほうでご意見ありますか。（発言する者あり）

白川委員。

○白川委員 はい。私もまちの声を拾ってきました。それで、一つだけ。

代替わりのときに古書店をやめるという例がかなり多いそうですので、やっぱりそこで代替わりのときにリノベーションにお金を出すよということで、引き続き古書店を、二代目、三代目で引き継ぐ方にはある程度優遇するということは必要なのかなと、ちょっと実感いたしました。これも、はい、議事録用です。

○小枝委員長 ありがとうございます。はい。

では、ほかに委員さんのほうからご意見、質疑がなければ。

のざわ委員。

○のざわ委員 委員長、すみません。

あと、この1階に、これも議事録に残していただきたいということで、1階に古書店、これは坪2万ぐらいのものじゃないと、なかなか入れなくなって、当然、もっと、坪10万とかで商売できる方がいっぱい、今、入ってきてしまうんですけど、やっぱりそのところはぜひ、路面店はここに書いていますように古書店、伝統文化。で、今のお店が入るような形に残していただきたいということと、あと、ナイトタイムエコノミーで、古書店の二毛作みたいなことはいかがでないかと。要は、何時から、日中も古書店、夜も別の人古書店というやり方はどうですかというやり方はどうですかというお話があるらしいんですけど、なかなか、これ、古書店でそれをするのは非常に難しいので、そこは何とか、そういうのは難しいんだよ、考えてほしいという声もありましたんで、これもぜひ付け加

えさせていただけたらと思ひまして。ええ。よろしくお願いします。

○小枝委員長 はい。貴重な意見をありがとうございました。

それでは、委員さんのほうがよろしければ、執行機関のほうから何かございますか。大丈夫ですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小枝委員長 小林委員。

○小林委員 はい。このまとめ、引継ぎというか、申し送り——申し送りじゃないですね、まとめですけれども、常任委員会のほうもまちづくり、環まちと地域振興部に企画総務委員会で引き継いだ点については精査してほしいというふうにとまとめられているんですけれども、これを抜き出してやっているんですけど、この部分については今後どのように二つの委員会、これ、一つだけやっても、この文化継承・コミュニティ活性化というのは、できない部分があるんで、両方にまたがるところで常任委員会に引き継いでいる部分があるんで、その辺の連携をどういうふうに取りっていくのかというのは課題かと思うんで、その辺の考え方と、これを受けて、委員会も終わってしまうんで、まちづくり部がいるんでね、まちづくりで受け取ったものについて、今後、課題として報告していくと思うんだけど、その辺の連携の取り方とか、一つじゃできないと思うんで、その辺の考えをちょっと、あれば——あればというか、考えをちょっとこの辺で示しておいていただくと、非常によろしいかと思うんですけど、いかがですか。

○小枝委員長 はい。恐縮です。まちづくり担当部長。

○加島まちづくり担当部長 はい。委員会の連携に関しては、ちょっと、我々というよりも議会のほうがどういう形ということなのかなと思いますので。

○小枝委員長 受け止めのところだけ。

○加島まちづくり担当部長 はい。環境まちづくり委員会では、神保町の取組に関しても、何回かご説明していますし、今年度取り組んでいきますよと。特に、駐車場だとかリノベだとかをやっていきますということで、もう既に声かけもして、やっていきますので、そちらの報告はもちろんしていきたいというふうには思っています。連携に関しましては、ちょっと、議会のほうでどう捉えて、どういう形でやっていくのか。また、その協議会には地域振興部のほうも入ってもらっていますので、そういったところで別々に報告するのか、一体的にという話になるのか、それは議会のほうのお考えになるかなというふうには思っております。

○小枝委員長 はい。恐縮です。地域振興部長、お願いします。

○印出井地域振興部長 地域振興部長です。

今、まちづくり担当部長からありましたけれども、当委員会で様々ご議論いただいた論点、テーマにつきましては、例えば歴史の伝統文化とまちづくりとか、あるいは産業振興とまちづくりと。それから、桜とか、そういった千代田区の、江戸城に由来するような、自然を守ることとまちづくりというような中で、やっぱり、こう、両部に関連している事項が多いというところは、執行機関ともしっかり認識しておりますし、まちづくり担当部長から答弁があったように、まちづくりの議論の中の協議会等にも、私や商工観光課長が入っているところでございます。また、今後、産業振興側からまちづくりに入っていくようなこともあろうかと思ひますので、その辺の今後のご報告の仕方とかにつきまして

は、企画総務委員会あるいは環境まちづくり委員会、それぞれの常任委員会にお諮りをしながら、まあ、常時、両方というのもあるでしょうから、うまくバランスを取りながら議会とご相談して、しっかり継続的に対応してまいりたいというふうに思います。

○小枝委員長 小林委員。

○小林委員 ありがとうございます。特に、環境まちづくりのほうなんですけれども、例えば駐車場附置義務をクリアする、クリアして、まちづくりの中で、要するに商店街の振興につなげていくとかいうのは、神保町は例えば江戸の心、もしくは明治からの、引き継いできた、千代田区で言えばかなりコアな部分で、これは皆さんも認識しているように残していくべきだというふうに言っているんだけど、まちづくりの部分で言うと、そこだけじゃないわけですよ。駐車場の附置義務を外すというのは、もっと全体に関わる問題になってくると思うんだけど、特に今回の場合は、神保町にスポットライトというかな、を当ててやっているんで、その部分については、やっぱりほかと同じ扱いではいけないと思うんですね。商店街があるところでの駐車場の在り方、造り方というのはほかとはちょっと違うと思うんで、その辺の認識をされて、要するにうまく地域振興部とやっていていただきたいというのを強く申し入れたいんですね。その辺、みんな一緒というわけじゃないんで、その委員会の意義がそこにあると思うんで、その辺はいかがですか。

○加島まちづくり担当部長 千代田区のそれぞれの地域、特性がございますので、全部一緒に駐車場のルールをつくるという形に関しても、同じという形じゃなくて、その地域特性に合わせた考え方でやっていく必要があるかなと。神保町に関しましては、先ほども申し上げたとおり、リノベだとかそういったところの検討もしていますので、それを定めていくには、街並み再生方針ということで、神保町ならではの将来像はこういう形だよねというのを示していく必要があるかなと。そういったものを踏まえながら、駐車場のルールというのはどういう形になるのかというのを検討していく必要があるのかなというふうに思っております。

○小枝委員長 はい。ありがとうございます。今年はいろいろ、また、いい意味で今までの経験を踏まえて、みんなが参加できるようなテーブルがつくられていき、また行政も、縦割りではなく、地域振興部と、そしてまちづくり部のほうが連携を取って、住民によりよいまちづくりを進めていくのだろうというふうに思います。ぜひ、精力的な連携、取組をお願いしたいと思います。

それでは、皆様、大変いろいろ、まあ、不十分なところもあったかと思いますが、ご協力、お知恵を頂きまして、ありがとうございました。この、まだね、終わるとか、そういうことは言えないんで、閉じるとか言えないんだよね、そうだよ。

それでは、本日は、この程度をもちまして委員会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。（発言する者あり）入山副委員長、ありがとうございました。

午前10時45分閉会